

S-Stage ボアアップキット 80cc (カム付) 取扱説明書

製品番号 01-05-0347

適応車種	Ape (AC16-1000001 ~ 1599999)
	CB50J (CB50J-1000011 ~ 1127783)
	CB50SA (AC02-1000007 ~ 1016876)
	CB50SB (AC02-1100006 ~ 1107894)
	XR50 Motard (AD14-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

使用燃料についてのご注意

当製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用した場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前にフューエルタンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず、CR8HSA (NGK) 又は、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

スプロケットについての注意点

当製品を取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。適正な減速比に変更して下さい。

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)
- ◎当製品の取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行う事をお勧めします。
- ◎当取扱説明書記載の取り付け要領はApeとCB50を主体としております。
- ◎取り付けの際には、次頁記述の工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
- ◎ApeやXR50 Motardは、当製品単体では性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
- ◎ApeやXR50 Motardのさらなるパワーアップには、弊社製マフラーをお勧めします。
- ◎CB50に当製品を取り付け、エキゾーストマフラーが変更されている場合は、セッティングの見直しが必要な場合があります。
- ◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎液体パッキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路を防ぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。
- ◎当製品を取り付けるには、別途、L. クランクケースカバーガスケット (ホンダ品番:11394-KN4-750) が必要です。別途お買い求め下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかったら、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

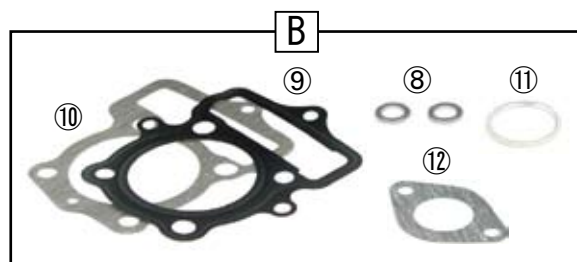
株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ピストン 53.5mm	1	00-01-0410 (③ピストンピン付き)
2	ピストンリングセット 53.5mm	1	01-15-016
3	ピストンピン 13x36	1	00-01-0091 (④サークリップ2ヶ付き)
4	ピストンピンサークリップ 13mm	2	00-01-0003 (6ヶ入り)
5	シリンダー	1	01-01-0117 (⑥⑦プラグボルト / ⑧シーリングワッシャ2ヶ付き)
6	プラグボルト	1	00-07-0072 (⑧シーリングワッシャ付き)
7	プラグボルト M5 穴付	1	00-07-0090 (⑧シーリングワッシャ付き)
8	シーリングワッシャ 10x14x1.5	2	00-07-0106 (10ヶ入り)
9	シリンダーヘッドガスケット	1	00-00-1144
10	シリンダーガスケット	1	00-01-0075 (2ヶ入り)
11	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0027 (2ヶ入り)
12	インレットパイプガスケット	1	00-03-0004 (4ヶ入り)
13	カムシャフト	1	01-08-040
14	原付2種マークセット	1	

記号	部品名	品番
A	ピストンキット	01-02-0244
B	ガスケットセット	01-13-021

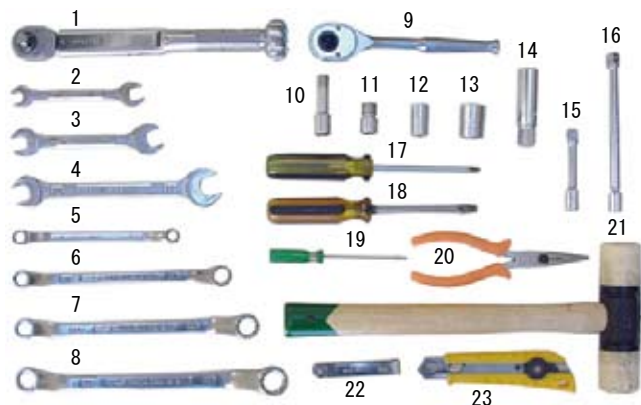
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。
※部品12は、Apeには使用しません。

ネジについて

- ◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。
- ◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるまで締めましょう。
- ◇ネジを緩めると言う事は、締まっている状態から3~4回転反時計方向に回す事を言い、取り外すと言う事はネジが取れるまで反時計方向に回す事を言います。
- ◇ネジを締めると言う事は、ネジを緩まない様に締める事を言います。その目安をボルトごとに、折れない・緩まない数値で表したのが規定トルクです。
- ◇トルクレンチを用意する事が出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締められるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。トルクレンチが無くてどのぐらいの力で締めるかと折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。
- ◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

工具について

- ◇正しい工具を正しく使用しない場合はボルトやナットや各パーツのかかり部分やネジ部分が破損する場合があります。
- ◇取り付けの経験が無いほど正しい工具が必要です。また、それらを正しく使用する経験も同様に必要です。準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
- ◇当製品の取り付けに使用する工具等を下記に掲載しますので参考にして下さい。
なお、車種やその年代により工具の内容が異なる場合がありますのでご了承下さい。
- ※工具は同じ名前のもので数々のメーカーや種類があったり、同じ工具でも名前が違ったりします。また、好みもありますので参考程度でお考え下さい。



1	トルクレンチ	15	エクステンションバー小
2	スパナレンチ 10-12mm	16	エクステンションバー中
3	スパナレンチ 12-14mm (CB50)	17	ドライバープラス小
4	スパナレンチ 14-17mm	18	ドライバーマイナス小
5	メガネレンチ 8-9mm	19	細軸ドライバーマイナス
6	メガネレンチ 10-12mm	20	ラジオペンチ
7	メガネレンチ 12-14mm (CB50)	21	プラスチックハンマー
8	メガネレンチ 14-17mm	22	シッケネスゲージ
9	ラチェットレンチ	23	カッターナイフまたはスクレーパー
10	ディープソケット 8mm		針金等
11	ソケット 10mm		ウエス
12	ソケット 12mm		エンジンオイル
13	ソケット 17mm		レーシングスタンド
14	プラグソケット 16mm		ジャッキ等

◇フューエルコックをOFFにします。



◇サイドスタンドを取り外す必要がありますので、レーシングスタンド等を用いて車両を確実に支えて下さい。
 ※CB50は、ノーマルマフラーを取り外さなければ、レーシングスタンドを使用出来ません。
 まず、サイドスタンドで車両を支え、“エキゾーストマフラーの取り外し”を参考にして取り外して下さい。
 ※作業は必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。
 ※各パーツはホコリやオイル等の汚れを取り除いてきれいにながら取り外していく様にして下さい。
 ※取り外したボルトやナットは無くさない様に、どの場所を使用するのかわかる様に保管して下さい。
 ◇チューブクリップをはずし、フューエルチューブの接続を外します。

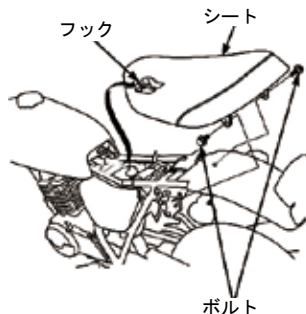


●エンジンの取り外し

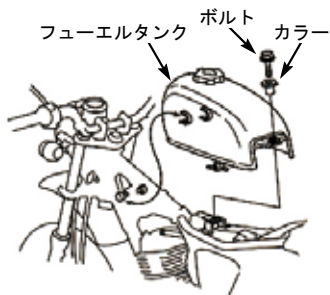
シートとタンクの取り外し

Apeの場合

◇2本のボルトを取り外し、シートを後方に引いて外します。

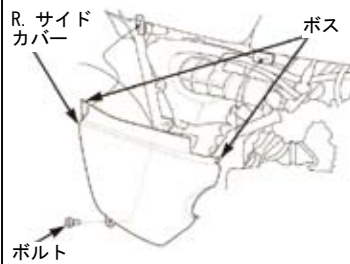


◇ボルトを外し、フューエルタンクを後方に引いて取り外します。

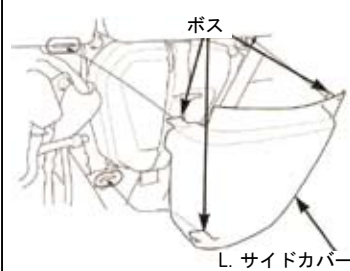


サイドカバーの取り外し

◇右サイドカバーのボルトを取り外します。
 ボス2ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



◇左サイドカバーのボス3ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



◇CB50は、左右のボス各3ヶ所を外し、取り外します。



キャブレターの取り外し

◇キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取ります。



◇コネクティングチューブバンドのスクリーンを緩めます。



◇ボルト2本を取り外し、シリンダーヘッドからマニホールドとキャブレターを取り外します。



エキゾーストマフラーの取り外し

◇シリンダーヘッド側のナット2個を取り外します。



Ape

◇マウントボルトとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



CB50

◇ボルトを取り外し、キックペダルを取り外します。



◇ロックナットとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



※エキゾーストパイプを、ステップとエンジンの間から抜き取ります。



スパークプラグの取り外し

◇プラグキャップを引っ張り、取り外します。必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。



◇スパークプラグを取り外します。



接続を外す

◇配線の接続を外します。



◇ワイヤーバンドを外します。



◇ブリーザーホースの接続を外します。(Apeの場合)



◇クラッチケーブルガイドのナットを緩め、リフターレバーからクラッチケーブルの接続を外します。



◇ケーブルガイドからクラッチケーブルを外します。



◇タコメーターケーブルのスクリーンを外し、ケーブルを取り外します。



ドライブプロケットの取り外し

◇L. クランクケースカバーのボルト5本を外し、L. クランクケースカバーを取り外します。



◇ガスケットがきれいに剥れず残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等で取り除いて下さい。
◇スペーサーを取り外しておきます。



スペーサー

◇ドライブプロケットの2本のボルトを外し、フィクシングプレートとドライブプロケットを取り外します。



L. ステップの取り外し

Ape の場合

◇サイドスタンドスイッチコードをフレームから取り外します。



◇ボルト2本を取り外し、L. ステップを取り外します。



エンジンの取り外し

◇エンジン下部にジャッキや適当な台等を置き、エンジンを支えます。



◇フロントエンジンハンガーのナット4個を取り外し、ボルト4本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。



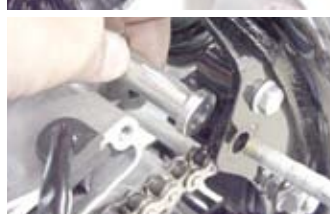
◇リアエンジンマウントの上側のナットを取り外します。



◇下側のナットを取り外します。



◇まず、上側のボルトを抜き取り、カラー(Ape の場合)とクラッチケーブルガイドを取り外します。



◇下側のボルトを抜き取り、エンジンをフレームの左側から取り外します。フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。



●シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

シリンダーヘッドの取り外し

◇シリンダーヘッドカバーボルト2本を外し、シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り外します。



◇フライホイールを固定し、カムプロケットの6角ボルト2本を緩めておきます。



◇ロックボルトとセットプレートを取り外し、アジャスターを取り外します。



セットプレート

ロックボルト



◇カムプロケットの6角ボルト2本を取り外します。



◇カムプロケットをカムシャフトから外し、カムチェーンから外します。



◇カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針等で吊っておきます。



◇シリンダーヘッドマウントボルトを取り外します。



◇カムシャフトホルダーナット4個を対角に数回に分けて緩めてワッシャ4個、カムシャフトホルダー、カムシャフト、ノックピンを取り外します。



◇シリンダーヘッドを取り外します。



◇ロックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。



◇シリンダーヘッドのマニホールド取り付け面のガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。



シリンダーの取り外し

◇カムチェーンガイドを取り外し、シリンダを抜き取ります。
(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外します。)



カムチェーンガイド



◇ロックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。



◇ロックナットとアジャストボルトをシリンダーから取り外します。



◇スプリングを外し、カムチェーンテンショナーをシリンダーから取り外します。



◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにゴミや部品が入らない様にウエスを詰め込みます。



ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外します。
※ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れます。



◇サークリップを取り外した方へドライバー等でピストンピンを押し外します。



◇ピストンが外れます。



取り付け面をきれいにする

◇ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けない様に注意して下さい。

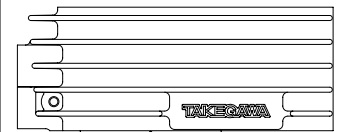


◇ウエスできれいに拭き取ります。



●クランクケースの修正

※シリンダーをクランクケースに取り付ける際、左右クランクケースのズレ等により、シリンダースリーブ部とクランクケーススリーブホール部が干渉する場合があります。干渉した状態で使用するとスリーブが変形し、エンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。

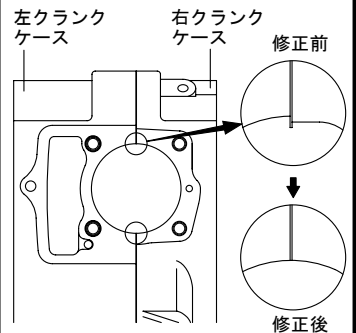


干渉部分 シリンダースリーブ部

◇クランクケース内に削り粉が入らない様にしっかりとウエスを詰めます。

◇左右クランクケースのズレの出っ張っている部分を削り、引っ込んでいる部分と同じ高さにします。

◇削り終わったら削り粉がクランクケース内に入らないように慎重にウエスを取り除きます。



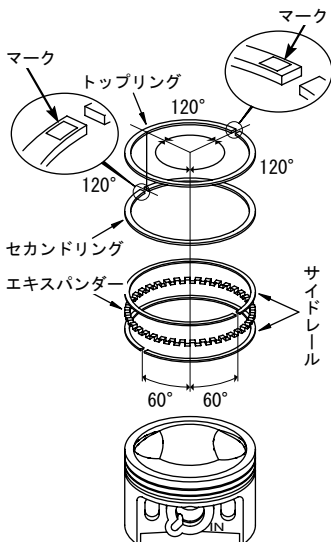
◇きれいなウエスをスリーブホールに詰めておきます。
◇キットを取り付けた後にエンジンをアイドリングで数分かけ、すぐにエンジンオイルを新品に交換して下さい。

●Sステージキットの取り付け ピストンの取り付け

- ◇ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。
- ※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。
- ※ドライバーで、ピストンにキズを付けない様に押し込むと比較的簡単に取り付けの事が出来ます。
- ※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



- ◇図を参考にしてピストンリングを取り付けます。



- ◇オイルリングエキスパンダーを入れます。



- ◇下オイルリングサイドレールを入れます。



- ◇上オイルリングサイドレールを入れます。



- ◇マーク上にして、セカンドリングを入れます。



- ◇マークを上にして、トップリングを入れます。



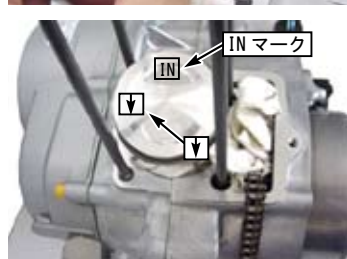
- ◇ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



- ◇コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



- ◇ピストンの頂面に▽又はINマークがあります。▽は排気側を向くように、INマークは吸気側を向くようにピストンを取り付けます。

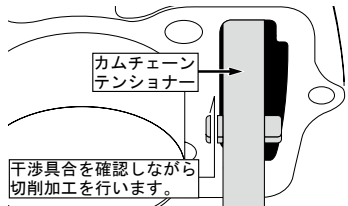
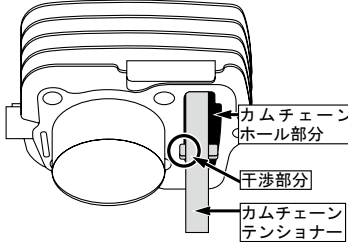


- ◇付属のピストンピンサークリップを取り付けます。
- ※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。
- ※ドライバーで、ピストンにキズを付けない様に押し込むと比較的簡単に取り付けの事が出来ます。
- ※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



シリンダーの取り付け

- ◇カムチェーンテンショナーの切削加工が必要になります。
- ◇弊社製ボアアップシリンダーにカムチェーンテンショナーを仮付した際、カムチェーンテンショナーの突起部分とシリンダーのカムチェーンホール部分が干渉します。
- ◇干渉具合を確認しながら徐々に切削加工を行います。
- ◇カムチェーンテンショナーの突起部分が軽く振れながら穴に差込めるぐらいが目安になります。
- ※削り過ぎにご注意下さい。



- ◇カムチェーンテンショナーをキットのシリンダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。



- ◇カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。アジャストボルトで固定し、ロックナットを締め付けます。



- ◇詰めていたウエスを取り外します。



- ◇クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。



- ◇ノックピン2個とシリンダーガasketをクランクケースに取り付けます。



- ◇シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げます。



- ◇ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。



- ◇シリンダーを入れていきます。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

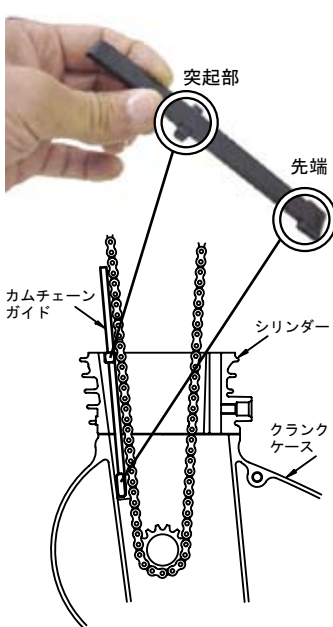
◇シリンダーにピストンリングの合い口がずれない様に指で少しずつはめていきます。



◇ピストンがシリンダーにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。



◇カムチェーンガイドの先端をクランクケースの溝に、突起部をシリンダーの溝に合わせる様にして差し込みます。



シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。



◇ノックピン2個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けます。



シリンダーヘッドガスケット

◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。



◇アジャスターをカムチェーンテンショナーとシリンダーヘッドに通して取り付けます。



◇ロックボルトでセットプレートを仮止めます。



◇シリンダーヘッドマウントボルトを仮止めておきます。



カムシャフトとカムプロケットの取り付け

◇キットのカムシャフトのジャーナル面とカム面にエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。カムシャフトのカム山は下側に向けておきます。



◇ノックピン2個を取り付けます。



◇カムシャフトホルダーを取り付けます。



◇ワッシャ4個を取り付けます。



◇ナット4個を対角に数回に分けて均等に締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：20N・m (2.0kgf・m)
CB50
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇仮止めていたシリンダーヘッドマウントボルトを本締めします。シリンダーヘッドマウントとカムシャフトの間にカムチェーンを噛み込まない様、注意して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドマウントボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



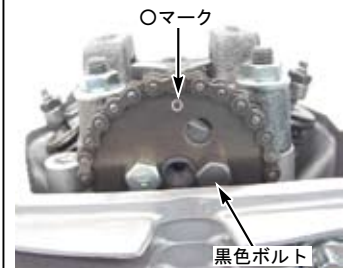
◇フライホイールの“T”マークがクランクケースの“マ”マークに合っているか確認します。



◇カムプロケットの“O”マークが真上を向く様にカムチェーンを取り付けます。カムプロケットをカムシャフトにはめ込みます。



◇フライホイールを少し回して、カムプロケットを回し、6角ボルトを取り付けやすくします。
◇カムシャフトのボルト穴をカムプロケットに合わせて6角ボルト2本を手で締め込み、仮り止めます。この時、ノックボルト(黒色ボルト)をインテーク側に取り付けて下さい。



◇フライホイールを固定し、カムプロケットの6角ボルト2本を締め付けます。

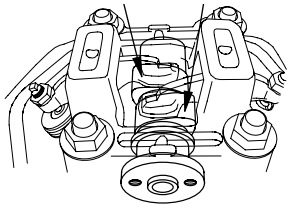
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



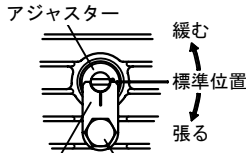
カムチェーンの調整

※カムチェーンは張りすぎてもたるみがあってもエンジンの調子を損ないます。確実に作業を行って下さい。
◇フライホイールを反時計方向に回し、カムシャフトの両方のカム山が上になる位置にします。

カム山を上にします。



◇フライホイールを手で少し動かし、カムプロケットとのガタをみながら、アジャスターの“O”マークを張る方向や緩む方向に回してみます。



セットプレート — ロックボルト

◇ガタが無く、フライホイールが重くならない所でロックボルトを締め込み、アジャスターを固定します。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇アジャスターの調整だけではガタが無くならない場合、シリンダーのアジャストボルトでも調整を行います。
◇アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットを緩め、アジャストボルトを少しだけ緩めます。



◇マイナスドライバーでアジャストボルトを固定し、ロックナットを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

◇再びアジャスターを回して、ガタが無く、フライホイールが重くならない所を探し、ロックボルトでアジャスターを固定します。

バルブ隙間の調整

◇フライホイールを反時計方向に回して、カムプロケットの“O”マークが真上を向き、フライホイールの“T”マークがクラクケースの“V”マークに合う位置で止めます。
◇アジャストスクリューとバルブ端面の間(バルブ隙間)に0.1mmのシクネスゲージを差し込みます。



◇引き抜くときに少し抵抗がある位にアジャストスクリューを合わせ、ナットを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇ナットを締め付け後、0.1mmのシクネスゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認します。
◇シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジンオイルをいっぱいまで入れます。



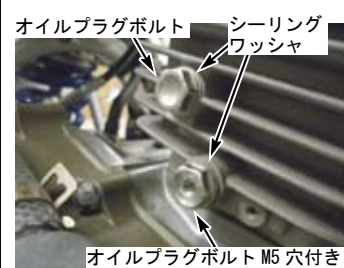
◇シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリンダーヘッドカバーボルト2本でシリンダーヘッドに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドカバーボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇付属のシリンダーのポスト2箇所、オイルプラグボルト/シーリングワッシャを取り付けます。オイルプラグボルトM5穴付きは、エンジン取り付け時に下側になるよう取り付けます。
※オイルクーラーキットを取り付ける場合は、そのキットの取扱説明書に従う事。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルプラグボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



●エンジンの取り付け

エンジンの取り付け

◇エンジン下部にジャッキや適当な台等を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。
◇リアエンジンマウントの下側にボルトを左側から差し込みます。
(CB50の場合は右側から差し込みます。)



◇カラー(Apeの場合)とクラッチケーブルガイドを取り付け、リアエンジンマウントの上側にボルトを左側から差し込みます。



◇ナット2個を仮止めします。



◇フロントエンジンハンガーを取り付け、ボルト4本を左側から差し込み、ナット4個を仮止めします。



◇ドライブチェーンを取り付けたドライブプロケットを、カウンターシャフトに差し込みます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。



◇ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、仮止めしたリアエンジンマウントのナット2個と、フロントエンジンハンガープレートのナット4個を本締めします。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
リアエンジンマウントナット
トルク：44N・m (4.5kgf・m)

フロントエンジンハンガープレートナット
トルク：26N・m (2.7kgf・m)

◇フィッシングプレートカウンターシャフトに差し、ドライブプロケットのボルト穴に合わせて、ボルト2本を取り付けます。

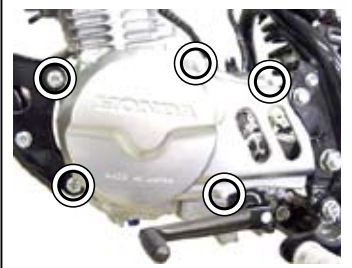
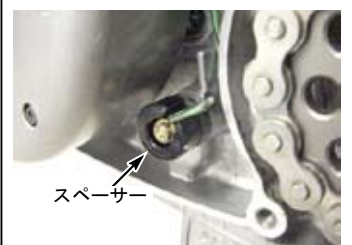
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



●L. クランクケースカバーの取り付け

◇L. クランクケースカバーとクランクケースの取り付け面をシンナー等で脱脂します。
◇スペーサーを取り付け、L. クランクケースカバーと新品のガスケットをボルト5本でクランクケースに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



L. ステップの取り付け

Ape の場合

◇L. ステップをボルト2本でフレームに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：26N・m (2.7kgf・m)



◇サイドスタンドスイッチコードをフレームのクランプに取り付けます。



接続

◇配線の接続を行います。



◇ワイヤーバンドでコードをフレームに固定します。



◇ブリーザーホースを接続します。
(Ape の場合)



◇リフターレバーにクラッチケーブルを取り付け、クラッチケーブルガイドに取り付けてナットを締め付けます。



◇タコメーターギアにケーブルのインナーの切り欠きを合わせて差し込み、スクリューでタコメーターケーブルを固定します。



スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグを、まず手で締め込みます。
◇スパークプラグレンチを用いて締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スパークプラグ
トルク：14N・m (1.4kgf・m)



◇プラグキャップを取り付けます。



エキゾーストマフラーの取り付け

◇シリンダーヘッド側のナット2個を仮止めします。

※CB50 ノーマルマフラーはレーシングスタンド使用時に取り付け出来ません。サイドスタンドで車両を支えてから取り付けて下さい。
※ノーマルマフラーはステップとエンジンの間から差し込んで下さい。



Ape

◇マウントボルトを仮止めします。



◇仮止めした3ヶ所を本締めします。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット2個
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

マウントボルト
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

CB50

◇ワッシャ、マフラーブラケット、ワッシャの順にピボットボルトに取り付け、ロックナットを仮止めします。



◇仮止めした3ヶ所を本締めします。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット2個
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

ロックナット
トルク：34N・m (3.5kgf・m)

◇キックペダルをシャフトに差し込み、ボルトで取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

キャブレターの取り付け

Ape

※当製品はノーマルキャブレターでは性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
※取り付けは、キャブレターキットの説明書を参照して下さい。

CB50

◇コネクティングチューブにキャブレターを差し込み、シリンダーヘッドにマニホールドをボルト2本で取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



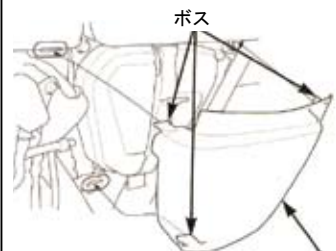
◇コネクティングチューブバンドのスクリューを締め付けます。



◇スロットバルブの切り欠き部をスロットストップスクリューに合わせて差し込み、トップキャップを取り付けます。

●サイドカバーの取り付け

◇左サイドカバーのポスト3ヶ所をフレームに差し込み、取り付けます。



L. サイドカバー

◇右サイドカバーのポスト2ヶ所をフレームに差し込み、ボルトを取り付けます。



◇CB50 は、左右のサイドカバー各3ヶ所をフレームに差し込み、取り付けます。

シートとタンクの取り付け

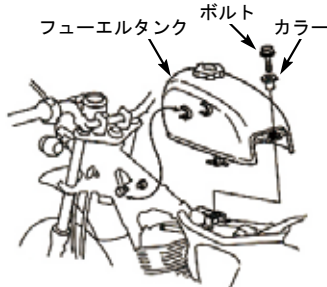
Ape の場合

◇フューエルタンクをフレームに取り付け、ボルトを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：26N・m (2.7kgf・m)

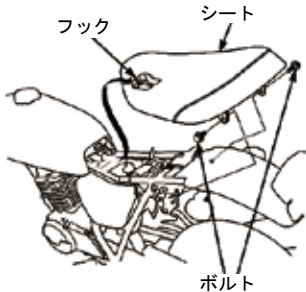


◇シート裏面の前部のフックをフレームに差し込み、2本のボルトでフレームに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

ボルト

トルク：26N・m (2.7kgf・m)



●フューエルホースの接続

◇フューエルコックにフューエルチューブを接続し、チューブクリップで固定します。



CB50 へ組み込まれる方へ

経年変化に伴い、各部の摩耗、へたり、損傷が考えられます。特に、シール部、ベアリング部、ジャーナル部等の点検を行い、必要ならば修理・部品交換を行って下さい。

●ポイント点火について

※点火時期がずれていると本来の性能を發揮しない上に故障につながる恐れがあります。点火時期及びポイント隙間の点検を行って下さい。ご自分で出来ない場合は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧めします。

★点火時期の点検

◇タイミングライトを使い、アイドル回転(1500rpm)時にフライホイールの“F”マークとクランクケースの“M”マークが合っているか確認します。◇合っていない場合はポイント隙間の点検を行って下さい。

★ポイント隙間の点検

◇ポイントの荒れ、偏摩耗、汚れがあればコンタクトブレイカーは交換して下さい。◇フライホイールを反時計方向に回し、ポイントが一番開く所に合わせます。◇シクネスゲージでポイント隙間を測ります。ポイント隙間規定値：0.3～0.4mm◇規定値外の場合はポイント隙間の調整を行います。

★ポイント隙間の調整

◇調整はブレイカー締め付けネジを緩め、コンタクトブレイカーをマイナスドライバー等で動かして行います。◇規定値内になるように調整し、再度タイミングライトを使って点火時期の点検を行って下さい。◇ポイント隙間と点火時期が合わない場合、コンタクトブレイカーを交換して下さい。

●走行前の注意

①お願い

◇このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。◇一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。◇キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

②使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

③スプロケットの変更

※このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

◇Ape S ステージ仕様の参考2次減速比は2.5となっております。

(体重 65kg 時)
2次減速比は、“ドリブン(リアタイヤ側)スプロケットの歯数÷ドライブ(エンジン側)スプロケットの歯数”で算出します。
例えば、35丁(ドリブンスプロケット)÷14丁(ノーマルドライブスプロケット) = 2.5(2次減速比)となります。

◇CB50 S ステージ仕様の参考2次減速比は、約2.9となっております。

(体重 65kg 時)
例えば、35丁(ドリブンスプロケット)÷12丁(ノーマルドライブスプロケット) = 2.9(2次減速比)となります。

●その他

①温度計

◇このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが取り付け出来ます。又、オイルプラグボルト部にはM5タイプの温度センサーが取り付け出来ます。

②オイルクーラー (Ape のみ)

◇このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキットの装着をお勧めします。(オイルクーラー取り付けの際は、オイルプラグボルトのM5タイプ温度センサーは取り付け出来なくなります。)